

# 中本幹子先生による 「こどもに英語を教えるための講座」開講のご案内

Learning World シリーズ著者であり、「APRICOT 児童英語教師養成講座」の講師を長く務めていただきました中本幹子先生の新しい講座を全10時間コース(全4回)でおこないます。

## 子供の好奇心を刺激して自ら学び発信する態度を養う

第1講座

5/17(日)

第2講座

5/24(日)

第3講座

6/7(日)

第4講座

6/14(日)

【対象】 ●これから英語教室をご自身で開校する方

●ラーニングワールドシリーズを使い始めた方

●ラーニングワールドシリーズの理念や教え方をもっと知りたい方

●すでに子供達にさまざまなテキストを使って英語を教えておられる方

●大学で児童英語教師養成の講座をお持ちの方

\* 当講座は「子供達への愛情」「英語への興味」「教育への情熱」をお持ちの方であればテキストや教育現場、お立場に関係なくご参加いただけます。

【募集定員】 20名(予定)

【受講料】 26,400円(税込) 全4講座セット \* 単講座の受講の場合は1講座につき、7,700円(税込)

【講座日程】 ●第1講座 5/17(日) どうすれば子供は英語を使えるようになるのか

●第2講座 5/24(日) 指導の実際①ーコミュニケーションを促す活動(発話・定着・歌、チャンツ他)

●第3講座 6/7(日) 指導の実際②ーコミュニケーションを促す活動(フォニックス・読み・書き・文法)

●第4講座 6/14(日) レッスンプランの組み立て・教室運営

【会場】 TKPガーデンシティ東梅田(梅田セントラルビル)

御堂筋線「梅田」駅 南改札 徒歩4分 / 谷町線「東梅田」駅 6番出口(H-80) 徒歩1分

### 講師 中本幹子先生よりメッセージ

いよいよ今年4月から全国の公立小学校の教科としての英語教育が始まります。

それに伴い、公立小学校の先生方、地域の有償、無償の英語支援のアシスタントの方、児童英会話教室の先生方、そして私立小学校の英語の先生方、皆さんそれぞれの立場から不安と疑問を少なからず胸に抱いていらっしゃると思います。

- ・ コミュニケーションとしての英語ってなに？
- ・ 文部科学省の言う「聞く、読む、書く、話す」って？
- ・ 今までの教え方ではいけないの？
- ・ なぜ、日本人は英語が使えないの？
- ・ 中学校の英語との結びつきは？ などなど・・・

一方、昨年春おこなわれた中学3年生を対象とした文部科学省の「全国学力・学習状況調査」の結果では、英語の全国公立中学校の平均回答率は56.0%で、「書く、話す」のような発信力に課題が表れただけでなく、三人称単数現在時制のような基礎となる能力も不足していることが明らかになりました。いったい、中学1年生から3年間の英語教育のどこがいけなかったのでしょうか。

本講座では、「児童英語 VS 中学英語」といった垣根を取り除き、ラーニングワールドシリーズ全10巻の執筆を通して幼児から中学終了時までのカリキュラム・教育法と、その到達点を追求してまいりました中本自身が考える英語教育のあるべきかたちを、理論面、実践面から具体的に、わかりやすくお話しさせていただきます。



中本 幹子